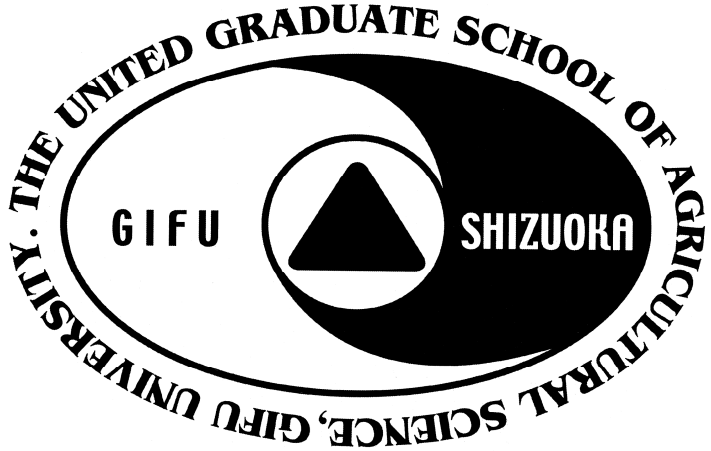
# 学位論文提出及び審査の手引
## （平成 22 年度以降入学生用）




岐 阜 大 学 大 学 院 連 合 農 学 研 究 科

（構 成 大 学 ： 岐 阜 大 学 ， 静 岡 大 学 ）

# 学位論文提出及び審査の手引

目　　次


１．提出資格 …… 1

２．提出時期 …… 5

３．提出書類 …… 5

４．提出方法 …… 5

５．学位論文等の作成要領 …… 6

６．学位論文審査，最終試験 …… 8

７．学位記の様式 …… １０

８．学位論文のインターネット公表 …… １１

９．学位の取消し …… １１

１０．参考 …… １２

１）学位論文審査の流れ（課程博士） …… １２

２）学位申請者の提出書類の様式 …… １３

３）学位論文審査に係る提出書類の様式 …… ２３

４）学位論文等の表紙見本 …… ２６

## １．提出資格

＜課程博士＞

（１）　研究科の第３年次に在学し、必要な研究指導を受けた上、所定の単位を修得した者又は学位論文の審査終了時までに修得見込みの者

（２）　研究科に１年以上在学し，特に優れた研究業績を上げ，代議員会で認められた者

（３）　博士課程に３年以上在学し，所定の単位を修得して退学した者のうち，退学した日の翌日から１年以内に学位授与の可否の審議を終了することが可能な者

（４）　（１），（３）の提出資格条件に加え，学位論文の基礎となる学術論文（単著論文又は共著論文のうち筆頭著者である論文）（以下「基礎となる学術論文」という。）を２編以上有すること。なお，１編は総説とすることができる。

（５）　（２）の提出資格条件に加え、基礎となる学術論文を３編以上有すること。

（６）　（４）及び（５）の基礎となる学術論文は，審査制度の確立されている学術雑誌（日本学術会議会員候補者を推薦できる学会等が刊行する学術誌，又は外国の学会等が刊行する国際的に評価されている学術誌を指す。）に掲載又は掲載承諾されたものであること。

詳細については，主指導教員の指導を受けること。

学位論文審査要件にかかる学術誌の認定基準の申合せ

（平成 18 年 8 月 18 日　第 5 回代議員承認）

I.　学術雑誌

学位論文審査要件にかかる学術誌（以下、審査要件学術誌と呼ぶ。）は下記の条件を満たすものとする。

1. 掲載論文が日本語あるいは英語、またはその両方で記載されている学術誌であること。
2. レフェリー制のある学術雑誌であること。
3. 下記①から⑤のいずれか 1 つ以上に該当する学術誌であること。
   - ① Web of Science のうち、Core Collection に登載されている学術誌
   - ② Web of Science のうち、Current Contents Connect に登載されている学術誌
   - ③ 全国 6 連合農学研究科協議会が運営・編集・発行する Reviews in Agricultural Science
   - ④ 日本学術会議会員推薦管理会（旧）により、 第 19 期登録学術研究団体に記載された団体，あるいは名称変更した後継団体が発行する学術誌
   - ⑤ 上記①から④以外で、代議員会が適と判断し，研究科から公表されている学術誌

II.　学位論文審査要件にかかる学術誌の追加認定について

1. 上記Ⅰ.3.⑤に該当する審査要件学術誌の追加申請は、指導教員資格を有している教員に限る。なお，申請者には下記Ⅱ.2，あるいは同Ⅱ.3 のための根拠資料を提出させるものとする。
2. 日本国内に主要拠点を有する学術研究団体が発行する学術誌を新たに上記Ⅰ.3.⑤に該当する審査要件学術誌に加えるには，団体が次の全ての項目を満たし、2 名以上の専門委員からの説明を聞いた上で、代議員会が適と判断すること。
   - 一 名称、 目的、 事業所、 構成員の資格及び代表者について定めがあること。
   - 二 学術研究の向上発達を図るための活動が 3 年を超えて行われていること。
   - 三 200 名以上の科学者が構成員であること。
   - 四 構成員による学術研究の発表又は討論のための集会を年 1 回以上開催していること。
   - 五 学術研究論文発表のための刊行物を年 1 回以上発行していること。
   - 六 運営及び活動に係る方針を決定する総会又はこれに準ずるものを年 1 回以上開催していること。
   - 七 構成員の資格を特定の地域内に居住し、 又は勤務している者に限っていないこと。
3. 上記Ⅱ.2 に該当しない学術誌を新たに上記Ⅰ.3.⑤に該当する審査要件学術誌に加えるには、2 名以上の専門委員からの説明を聞いた上で、学位の基礎論文を掲載するにふさわしいと代議員会が全会一致で適と判断すること。

III. 専門委員

上記Ⅱにおいて代議員会から委嘱する専門委員は、指導教員資格を有する教員のうち、専門分野が近いものを選出する。なお、専門委員のうち、1 名は代議員会構成員とする。

IV. 適用開始時期

この申合せは、 平成 20 年３月修了にかかる学位申請書から適用する。

附 則

この改正は、 平成 23 年４月１日からとする。

附 則

この改正は、 平成 24 年 12 月 18 日からとする。

附 則

この改正は、 平成 27 年 10 月 1 日からとする。

附 則

この申合せは、 平成 30 年 11 月９日から実施する。

附 則（令和５年８月１日　代議員会）

この申合せは、 令和５年８月１日から実施する。

【参考】

Ⅱ.2 に該当しない学術誌を新たに審査要件学術誌に追加する申請を行う場合は概ね次のような項目を報告する.

1. 学術誌名
2. 出版母体（学会などの場合，学会の情報も加える.）
3. 出版社,（出版国）
4. 歴史（発刊年数，累計発刊数）
5. 年間発刊数および年間論文掲載数
6. 査読体制
7. 編集委員会の構成
8. 投稿者の限定の有無，国際誌の場合，特定国への偏りの有無
9. 登録されているデータベース（インデックス）
10. （あれば）アクセプト率
11. （あれば）最近 10 編程度の投稿からアクセプトまでの平均期間（偏差等の情報を加えてもよい）
12. （あれば）査読のやりとり状況
13. 投稿･掲載費用
14. 申請者の説明

# 課程博士の学位論文に係る研究の中間発表会について

（平成１６年４月１日<br>制　　定）

（趣旨）

学位論文の中間発表会は，連合農学研究科の研究指導の一環として，構成大学間の緊密な共同指導体制の下に，博士の学位に相当する研究業績が在学中に挙げられることを意図して実施するものである。

（実施方法）

１　学位記の取得を希望する学生は学位論文提出の１年以内に，学位論文中間発表会において研究の進捗状況を報告するものとする。

２　学位論文中間発表の有効期間は，発表後１年間とする。

３　学位論文中間発表会は，各構成大学でまとめて行い，その実施設定は当該大学の代議員がこれに当たるものとする。

４　出席教員は，主指導教員，副指導教員及び構成大学の教育職員とする。

５　学位授与が不合格となった場合は，学位論文審査の公開論文発表を次回の学位申請のための学位論文中間発表とみなすことができるものとする。

## ２．提出時期

＜課程博士＞

標準修業年限（３年）内に学位を申請するとき，並びに第１年次及び第２年次に在学しているもので,その年次内に学位を申請するときは指定された日までに提出するものとし，それ以外の場合は，連合農学係まで問い合わせすること。

## ３．提出書類

＜課程博士の場合＞

| | | |
|---|---|---|
| （１） | 学位申請書（別紙様式第１号） | １部 |
| （２） | 論文目録（別紙様式第２号） | ３部 |
| （３） | 学位論文（和文又は英文）※１ | ４部+PDF |
| （４） | 学位論文要旨（別紙様式第３号）［和文 2000 字又は英文 1200 語程度］ | １部＋ＰＤＦ |
| （５） | 学位論文の基礎となる学術論文※２ | ４部 |
| （６） | 既発表学術論文※２ | ４部 |
| （７） | 履歴書（別紙様式第４号） | １部 |
| （８） | 承諾書（共同研究論文の場合）（別紙様式第５号） | 各１部 |
| （９） | 機関リポジトリ登録申請書 | １部 |
| （１０） | 学位論文申請関係書類チェックシート | １部 |
| （１１） | その他必要と認めるもの | |
| | ア　戸籍抄本（又は住民票）※３ | １部 |
| | イ　単位修得証明書（連合農学係が添付する。） | １部 |
| | ウ　その他指示されたもの | |

※１　学位論文の提出先の内訳
主指導教員に提出・・・論文審査員の数に応じた部数
連合農学係に提出・・・両面コピーした学位論文１部と PDF

※２　基礎となる学術論文、既発表学術論文の提出先の内訳
主指導教員に提出・・・論文審査員の数に応じた部数
連合農学係に提出・・・１部

※３　日本人は，戸籍抄本。留学生は，住民票。

## ４．提出方法

１）　学位論文及びその他の提出書類

岐阜大学応用生物科学部連合大学院事務室連合農学係（以下「連合農学係」という。）に直接持参するか，又は郵送（書留）により提出すること。

２）　論文提出に際しては，必ず本研究科の主指導教員（課程博士の場合）の承認を得ておくこと。

## ５．学位論文等の作成要領

１）　学位論文

（１）　論文は，和文又は英文のいずれでもよい。

（２）　Ａ４サイズ用紙に，ダブルスペースで印刷（１頁 24～26 行）し，上下左右（2.5～3㎝）の余白をとる。

（３）　本製本を原則とし，表紙と背に論文題目（英文の場合は，表紙に和訳を付ける）及び提出年（西暦）並びに氏名，また表紙の氏名の上に研究科名，専攻名及び所属構成大学名を記載する。（論文博士にあっては，専攻名，所属構成大学名は必要なし。）

（４）　複製する場合は，長期保存に耐えるような複写方式を用い，片面とする。

（５）　製本体裁は，次の様式とする。（26, 27 頁を参照のこと。）

①　表紙の色は，黒とする。

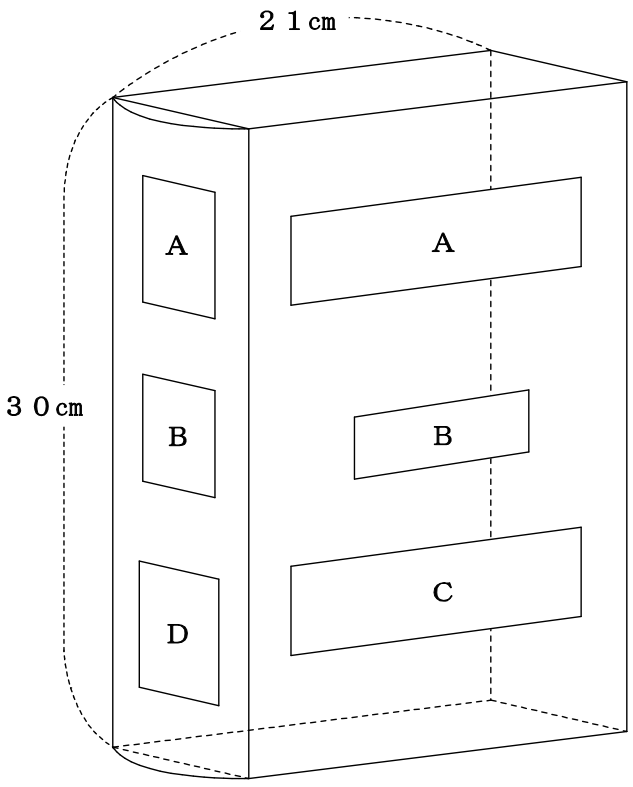
②　文字は，金文字とする。

③　英文の題目は，次のとおりとする。

小文字　小文字　小文字

「Studies on Ecological・・・・」

大文字　大文字




A　論　文　題　目

B　西暦（アラビア数字）

岐阜大学大学院
C　連合農学研究科
専攻名
（所属構成大学名）
氏　名

D　氏　名

（６）　第１ページに論文題目と氏名を書き，次ページに目次（CONTENTS）を書く。

（７）　次いで本文は，原則として緒言（INTRODUCTION），実験材料及び実験方法（MATERIALS AND METHODS），実験結果（RESULTS），考察（DISCUSSION），結論（CONCLUSION），謝辞（ACKNOWLEDGMENTS），文献（REFERENCES）の順序とする。

（８）　数字は算用数字を用い，単位符号は原則として SI 単位（国際単位系）を用いる（日本規格協会発行の JIS,Z8202，JIS,Z8203 などを参照）。

km，m，cm，mm，μm，nm，pm，*l*，d/，m/，μ/，kg，g，mg，μg，pg，d（日），h（時），min(分)，s(秒)，ms，μs.

（９）引用文献リストは，引用順に番号を付して配列する。本文中では，“[1)]”，“[2-4,7)]”または“[1]”，“[2-4,7]”のように引用する。引用文献リストにおける各項目は次のとおりとする：

a. 雑誌の場合：著者名（全著者），タイトル，雑誌名，巻号，開始頁－最終頁，（必要に応じて DOI 識別子）

b. 書籍の場合：著者名，タイトル，版番号，引用ページ，発行年，出版社，出版地

c. 分担執筆の場合：著者名，章タイトル，編者，書籍タイトル，版番号，章開始頁－章最終頁，出版社，出版地

雑誌名の略記は，原則として医学中央雑誌，ISO 4（Information and documentation —Rules for the abbreviation of title words and titles of publications）などを参照する。

＜例＞

1) Kauffman GL, Aures D and Grossman MI. Intravenous indomethacin and aspirin reduce basal gastric mucosal blood flow in dogs. Americal Journal of Physiology 238, 131–134, 1984.

2) Colquhoun D and Sigworth FJ. Fitting and statistical analysis of single-channel records. *In*: Sakmann B and Neher E [eds.], Single channel recording. 1st ed, pp. 191–263, Plenum Press, New York.

3) 田北周平．胃切除後の胃運動機能について．臨床と研究　26，135–140，1949.

4) 中村悦郎，木村　都．出現率の検定．（編者名），検定法と応用推計学，第５版，pp.152–158，共立出版，東京．

２）　学位論文の基礎となる学術論文及び既発表学術論文

（１）　学位論文の基礎となる学術論文は１冊にまとめ，左綴じに仮綴じし，表紙に学位論文の基礎となる学術論文と明記の上，氏名を記入する。（28 頁を参照のこと。）

（２）　既発表学術論文は１冊にまとめ，左綴じに仮綴じし，表紙に既発表学術論文と明記の上，氏名を記入する。29 頁を参照のこと。）

３）　学位論文要旨（別紙様式第３号）

（１）　論文要旨は，和文（2000 字程度）又は英文（1200 語程度）とする。

（２）　所定の様式を用い，１部印刷し，PDF(PDF/A)を作成する。

４）　学位論文提出

学位論文１部は，学位授与が決定された後，学位授与日の前日（または連合農学係が指定する日）までに製本し，提出するものとする。学位申請時に提出した後に学位論文を修正した場合は，学位論文の原本及び PDF(PDF/A)を研究科委員会前日 17 時までに連合農学係まで再提出すること。再提出しない場合は，先に提出した学位論文の PDF(PDF/A)が岐阜大学機関リポジトリに登録される。

## ６．学位論文審査，最終試験

１）　学位論文審査の手順

（１）　提出された学位論文は，研究科委員会（代議員会）において，申請者が学位論文の提出資格を充たしていること，及び必要書類等が揃って提出されていることを確認した後，正式に受理される。

（２）　研究科委員会（代議員会）は受理された学位論文を審査するため，論文ごとに審査委員会を設け，当該論文の審査を付託する。

（３）　審査委員会は，主査１人，副査２人以上で構成する。主査は，申請者が博士課程の在学者の場合，原則として，当該主指導教員以外の者（主指導教員資格者）とし，副査は，原則として主指導教員資格者（特に必要と認める場合は，副指導教員有資格者（講師を除く。）を含む。）のうちからとし，原則として構成大学の教員各１人を含むものとする。

ただし，申請者が博士課程の在学者の場合は，当該副指導教員のうちの１人を含め，かつ，原則として構成大学の教員各１人を含むものとする。

（４）　研究科委員会（代議員会）は，学位論文審査のため特に必要と認めた場合は，岐阜大学大学院の他の研究科，他の大学院若しくは研究所等又は外国の大学院若しくは研究所等の教員等を審査委員に加えることができる。

（５）　審査委員会は，原則として主査が所属する構成大学において，主査の主宰により公開の論文発表会を行う。

（６）　公開論文発表会は，申請者による学位論文の口頭（原則として日本語）による発表と，それに対する質疑応答によって行う。

（７）　審査委員会は，公開論文発表会の開催日の２週間前までに申請者の氏名及び論文題目並びに開催の日時及び場所を構成大学に公示するものとする。

２）　最終試験

（１）　博士課程に在学中の者又は３年以上在学し，かつ，所定の単位を修得して退学した者のうち，退学後１年以内の学位申請者に課するものには，学位論文を中心として当該研究分野に関する識見の口頭試問により行う。

（２）　最終試験は，審査委員会の主査が主宰し，原則としてその所属する構成大学において実施する。

３）　審査結果等の報告

（１）　審査委員会の主査は，副査と協議して審査結果をまとめ，「学位論文審査の結果の要旨」（別紙様式第８号）及び「最終試験結果の要旨」（別紙様式第９号）並びに学位論文の内容の要旨を研究科長に提出する。

（２）　研究科委員会は，審査委員会の審査結果報告に基づき，申請者が博士課程の在学者については在学期間中に，博士課程に３年以上在学し，所定の単位を修得して退学した者については，退学した日の翌日から１年以内に学位論文の審査及び最終試験を終了するものとする。

4）　学位授与の最終決定

（1）　学位授与の判定のため，研究科長は研究科委員会を開き，審査委員会から報告された学位論文の審査結果結果の要旨，最終試験結果の要旨及び学位論文の内容の要旨を審議にかける。

（2）　学位授与の最終決定は研究科委員会で投票により決定する。可となるためには，出席者の 3/4 以上の賛成を必要とする。

（3）　研究科長は，研究科委員会の学位授与に関する最終決定の結果を，岐阜大学長に報告する。

# ７．学位記の様式

＜課程博士＞

農博甲第　　号

学　位　記

本籍　（都道府県名）

氏　名

年　月　日生

本学大学院連合農学研究科○○専攻博士課程の研究指導を○○大学において受け所定の単位を修得し学位論文審査及び最終試験に合格したことを認める

岐阜大学大学院連合農学研究科委員会

右記の認定により博士（農学）の学位を授与する

論文名

年　月　日

岐阜大学

## ８．学位論文のインターネット公表

１）　学位論文要旨及び審査要旨の公表

岐阜大学は，学位授与の日から３月以内に，学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネット公表する。

２）　学位論文の公表

（１）　博士の学位を授与された者は，授与された日から１年以内に学位論文をインターネット公表するものとする。ただし，その内容が学位を授与される前に学術論文としてインターネット公表されている場合には，この限りではない。

（２）　学位論文を印刷公表する場合は,「岐阜大学審査学位論文」と明記しなければならない。

（岐阜大学学位規則第２２条）

## ９．学位の取消し

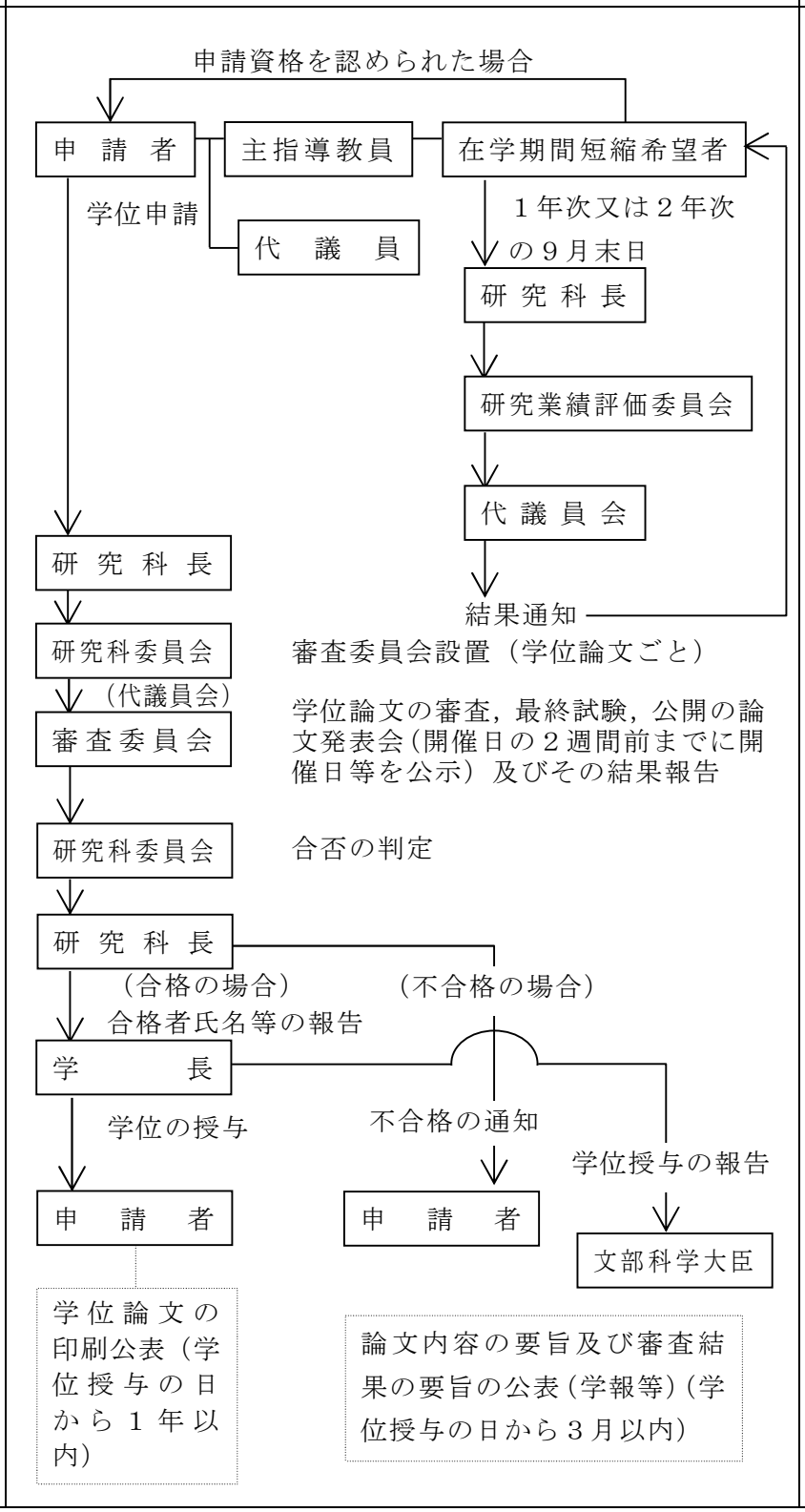
学位を授与された者が，不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したとき又はその名誉を汚辱する行為があったときは，岐阜大学長は，大学院委員会（連合農学研究科委員会）の議を経て，授与した学位を取消し，学位記を返付させ，かつ，その旨を公表するものとする。

（岐阜大学学位規則第２４条）

# １０．参考

１）　学位論文審査の流れ

＜課程博士の場合＞

| 課程修了する場合の手続き期限等 | 事　　項 | 標準所要期間 |
|---|---|---|
| 土，日，祝日の場合変更あり<br><br>最終年次の１２月１０日まで（６月３０日まで）<br><br>２月上旬（９月上旬）<br><br>３月下旬（９月下旬） |  | 約２週間<br><br>約６週間<br><br>約２週間 |

２）　学位申請者の提出書類の様式

①　学位申請書

下図のとおり。

| 受付番号 | 受付年月日 | 受理年月日 | 報告番号 |
|---|---|---|---|
| 甲第　　号 | 年　月　日 | 年　月　日 | 甲第　　号 |

別紙様式第１号（第４条関係）　Form No.1

学　位　申　請　書

DOCTORAL APPLICATION FORM

年　　月　　日

year　month　day

岐阜大学長　殿

To the President of Gifu University

主指導教員　　（自署）

氏　　名 _____

Name of Primary Academic Supervisor　　Signature

申　請　者

Applicant

入学時期　　年　　月入学

Date of Admission　year　month

岐阜大学大学院連合農学研究科

The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University

(自署)

氏　　名 _____

Name　　Signature

岐阜大学大学院連合農学研究科における博士（農学）の学位の取扱細則第４条の規定に基づき，下記のとおり関係書類を添え学位の授与を申請いたします。

Herewith, I apply for the doctoral degree, with providing the following documents followed after the details of regulations for handling Doctoral Degrees Article 4.

記 Descriptions

論文目録 List of Publications　部 □

学位論文 Dissertation　部 □

学位論文要旨 Dissertation Summary　部 □

履歴書 Curriculum Vitae　部 □

戸籍抄本（又は住民票 Resident Record）　部 □

② 論文目録

下図のとおり。

別紙様式第２号（第４条，第６条関係） Form No.2

# 論 文 目 録
# LIST OF PUBLICATIONS

氏 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Name

学 位 論 文 Dissertation

題 目 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Title of Dissertation

学位論文の基礎となる学術論文
Academic Papers that Form the Basis of Dissertation

１.

２.

３.

既 発 表 学 術 論 文
Previously Presented Academic Papers

１．

２．

３．

③　学位論文
　　省略（本文参照）
④　学位論文要旨
　　下図のとおり。本文も参照のこと。

別紙様式第３号（第４条，第６条関係）　Form No.3

## 学　位　論　文　要　旨
## DISSERTATION SUMMARY

氏　　名
Name

---

題　　目
Title of Dissertation

---

学位論文要旨(Dissertation Summary)

⑤　学位論文の基礎となる学術論文

省略（本文参照）

⑥　履歴書

下図のとおり。

別紙様式第４号（第４条，第６条，第７条関係）　Form No.4

| 履　　歴　　書　CURRICULUM VITAE | | |
|---|---|---|
| フ リ ガ ナ<br>氏　　名<br>Name (in Katakana)<br>Name (in English) | | 男　・　女<br>Male／Female |
| 生 年 月 日<br>Date of birth | 年　　月　　日生<br>year　　month　　day | |
| 本　　籍<br>Country name | | |
| 現　住　所<br>Present address | 〒　　電話 TEL（　　）　　— | |
| 学　歴（高等学校卒業以後の学歴を年代順に記入すること。）<br>Academic background　　(Start from senior high school level) | | |
| | | |
| 研 究 歴（研究期間・研究内容等を年代順に記入すること。）<br>Research　history | | |
| | | |

| 職　　歴<br>Occupational history |
| --- |
| |
| 学会及び社会における活動状況<br>Column on activities in academic societies or the community |
| |
| 賞　　罰<br>Special achievements |
| |

⑦　承諾書

下図のとおり。

別紙様式第５号（第４条，第６条関係）Form No.5

承　　諾　　書
LETTER OF CONSENT

年　　月　　日
year　month　day

岐阜大学大学院連合農学研究科長　殿
To the Dean of The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University

共著者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Co-Author'sName　　Signature

所属・職名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Affiliation and Position

論 文 題 目
Title of Paper

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

著 者 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Author(s) name

学術雑誌名（学会誌）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿に発表・印刷中・投稿中
Name of Journal　　published/in press/submitted
（巻・号・頁）(Vol., No., Page)　　（　　.　　.　　～　　）

発行年月　　＿＿＿＿＿＿年　　月
Date published　　year　month

上記論文を＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿氏が，岐阜大学大学院連合農学研究科へ博士（農学）の学位申請論文として提出することを承諾します。

なお，当該論文は，学位論文の基礎となる学術論文として過去において使用せず，また，将来においても使用しません。

I hereby give my consent for Mr./Ms. ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ to submit the above-mentioned paper in support of his/her doctoral application (in agriculture) at The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University.

This paper has not been used in the past as an academic paper that forms the basis of dissertation, nor will it be so used in the future.

投稿中，印刷中，発表と進んでもこの書類に効力を持ちます。

This document is valid even if it is being submitted, in press, or published.

⑧機関リポジトリ登録申請書

# 機関リポジトリ登録申請書
# Institutional Repository Registration Application Form

令和　　年　　月　　日

Date:　　(yyyy/mm/dd)

岐阜大学附属図書館長　　殿

To the Director of Gifu University Library

私が執筆した博士学位論文について、下記のとおり電子データで提出します。

I submit an electronic copy of my doctoral dissertation to the Gifu University Library.

| | | | |
|---|---|---|---|
| 所　　属<br>Faculty<br>Course | 連合農学研究科 ＿＿＿＿＿＿＿＿専攻<br>The United Graduate School of Agricultural Science<br>Course: ＿＿＿＿＿＿＿＿ | 学籍番号<br>School Register Number | |
| (フリガナ)<br>氏　　名<br>(Katakana) Name | ＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿<br>姓 Family Name　ミドル Middle Name　名 Given Name　印 Seal | | |
| 修了後の連絡先<br>(または帰省先)<br>(郵便番号から)<br>Contact Address after Completion/ Returning Home | TEL :<br>E-mail : | | |
| 論文題目<br>(和文の場合は英訳、英語の場合は和訳を、(　) で併記すること)<br>Dissertation Title<br>(If in English (Japanese), write Japanese (English) translation in parentheses) | | | |
| 公表<br>Publication | □ 岐阜大学機関リポジトリで全文公表します<br>Publish the above dissertation (full text) on the Gifu University Institutional Repository<br><br>□ 岐阜大学機関リポジトリでの全文公表の延期を希望します。ただし、全文公表可能日までは、博士論文（要約版）を公表します。<br>Unable to publish the full text of my dissertation on the Gifu University Institutional Repository, and request permission to publish a summary of my dissertation instead.<br>□＜公表可能日＞Possible date of full publication<br>本日より１年以内の場合（本日より１年以内の月日をご記入ください）<br>※ 公表可能日 ： 令和　　年　　月　　日以降<br>Date : ＿＿＿＿＿＿＿＿(yyyy/mm/dd) (No greater than one year)<br>□＜未定の場合＞ If the date of full publication is undetermined:<br>本日より１年以内に「機関リポジトリ登録申請書」を提出します。提出しない場合は、その後、博士論文全文をインターネット公表することに同意します。<br>I agree to contact the UGSAS once a year to inform the current status of the publication by submitting this form. If I fail to apply for the yearly extension, I understand that Gifu University will automatically upload my dissertation. | | |

裏面あり Continued on Reverse Side

| | |
|---|---|
| 延期を希望<br>する理由(詳細)<br>Reason for<br>requesting delay<br>(Explain in detail) | 延期を希望する場合は、記入してください。<br>State the reason for requesting delay. |
| 指導教員確認<br>Supervisor's<br>Confirmation | 氏名<br>Name<br>署名又は押印<br>Signature/Seal |

# 学位論文申請関係書類チェックシート　List of documents required for degree application

所属構成大学:　　大学　申請者:　　主指導教員:　　代議員会委員:

Ⅰ)下記の提出書類等について確認し、✓印をつけること。

| 提　出　書　類 | 提出部数 | 申　請　者 | 主指導教員 | 代議員会委員 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1.学位申請書(別紙様式第1号)　DOCTORAL　APPLICATION　FORM　(Form No.1) | 1部 | | | | |
| 2. 論文目録(別紙様式第2号)　LIST OF PUBLICATIONS　(Form No.2) | 3部 | | | | |
| 3. 第19期日本学術会議登録学術研究団体一覧・カレントコンテンツ・Web of Science に掲載されていることが確認できる書類 | 1部 | | | | |
| 4. 基礎となる学術論文が学術雑誌等に未掲載の場合、論文が受理されたことが分かる書類(タイトルと「受理」の部分に下線をつけること)<br>基礎となる学術論文が投稿中の場合、論文を投稿したとわかる書類 | 3部(原本1部, 写し2部) | | | | |
| 5. 学位論文(両面印刷)　Dissertation | 1部+PDF | | | | |
| 6. 学位論文要旨　和文又は英文(別紙様式第3号)　DISSERTATION SUMMARY　(Form No.3) | 1部+PDF | | | | |
| 7. 学位論文の基礎となる学術論文　Academic Papers that Form the Basis of Dissertation | 1部 | | | | |
| 8. 既発表学術論文　Previously Presented Academic Papers | 1部 | | | | |
| 9. 履歴書(別紙様式第4号)　CURRICULUM VITAE　(Form No.4) | 1部 | | | | |
| 10. 承諾書(別紙様式第5号)　LETTER OF CONSENT　(Form No.5) | ○著者全員1部ずつ | | | | |
| 11. 機関リポジトリ登録申請書　Institutional Repository Registration Application Form | 1部 | | | | |
| 12. 戸籍抄本(外国人は住民票)※申請前3ヶ月以内に発行されたもの。※写しは不可。 | 1部 | | | | |
| 13. 英文氏名及び国名届(外国人のみ)(指定用紙)　English spelling of applicant's name and nationality | 1部 | | | | |

注：1.学位申請の提出書類の氏名は、すべて学位記に使用する氏名で統一すること。

2.学位論文の基礎となる学術論文及び既発表学術論文は，審査委員会にも使用するため審査委員（予定者）の人数分は主指導教員にて保管してください。

3. ○印は学位論文の基礎となる学術論文が共著である場合に共著者全員各人それぞれについて作成すること。

4. 英文の氏名及び国名届（外国人のみ）（指定用紙）は，学位記及び英文学位記証明書の発行に使用するものです。

Ⅱ）学位論文に剽窃がないことの確認

| 確　認　内　容 | 主指導教員（自署） |
|---|---|
| 学位論文の記述には、剽窃チェックソフトを用いた確認の結果、盗用、改ざん、捏造がないことを確認しました。 | |

3）　学位論文審査に係る提出書類の様式

①　学位論文審査結果の要旨

下図のとおり。

別紙様式第８号（第９条関係）

**学位論文審査結果の要旨**

氏　　名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

主　査

副　査

副　査

審査委員

副　査

副　査

副　査

副　査

題　　目　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**審　査　結　果　の　要　旨**

基礎となる学術論文

1）

2）

既発表学術論文

1）

2）

② 最終試験結果の要旨

下図のとおり。

別紙様式第９号（第９条関係）

## 最 終 試 験 結 果 の 要 旨

氏　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

主　査

副　査

副　査

審 査 委 員

副　査

副　査

副　査

副　査

実施年月日　　令和　　年　　月　　日

試験方法（該当のものを○で囲むこと。）　　口　頭　・　筆　答

試　験　結　果　の　要　旨

4）　学位論文，学位論文の基礎となる学術論文及び既発表学術論文の表紙見本

（学位論文）和文の場合

○○○○に関する研究

２００○年

柳戸太郎

（和文論文）

（和文論文）○○○○に関する研究

（和文論文）２　０　○　○　年

（和文論文）岐阜大学大学院連合農学研究科
○○科学
（○　○　大　学）

（和文論文）柳　戸　太　郎

○○科学は，生物生産科学，生物環境科学，生物資源科学のうちいずれか1つを記入する。

（○○大学）は，所属する大学名を記入する。

（学位論文）　英文の場合

Studies on Ecological・・・　20○○　YANAGIDO, Taroh　（英文論文）

（英文論文）Ｓｔｕｄｉｅｓ　ｏｎ　Ｅｃｏｌｏｇｉｃａｌ・・・
（○○○○に関する研究）

（英文論文）２０○○

（英文論文）The United Graduate School of Agricultural Science, Gifu University

Science of ○ ○ ○

（○○University）

（英文論文）ＹＡＮＡＧＩＤＯ,　Ｔａｒｏｈ

Science of ○ ○ ○は，Biological Production, Biological Environment, Biological Resourcesのうちいずれか１つを記入する。

（○ ○ University）は，所属する大学名を記入する。

（学位論文の基礎となる学術論文）

# 学位論文の基礎となる学術論文

柳　戸　太　郎

(既発表学術論文)

# 既　発　表　学　術　論　文

柳　　戸　　太　　郎

学 位 論 文 提 出 及 び 審 査 の 手 引

平成　５年　７月初版発行
平成　７年　３月第　２版発行
平成　９年　７月第　３版発行
平成１２年　９月第　４版発行
平成１５年　１月第　５版発行
平成１９年　３月第　６版発行
平成２２年　３月第　７版発行
平成２３年　４月第　８版発行
平成２４年　４月第　９版発行
平成２５年　４月第１０版発行
平成２６年　４月第１１版発行
平成２６年１１月第１２版発行
平成２７年　４月第１３版発行
平成２８年　４月第１４版発行
平成３０年　４月第１５版発行
平成３０年１０月第１６版発行
令和　元年　５月第１７号発行
令和　２年　４月第１８号発行
令和　３年　４月第１９号発行
令和　３年１０月第２０号発行
令和　５年　４月第２１号発行
令和　５年１０月第２２号発行
令和　６年　４月第２３号発行

岐阜大学大学院連合農学研究科

岐阜市柳戸１番１
電話　＜０５８＞２９３－２９８４
ＦＡＸ＜０５８＞２９３－２９９２